

第5学年2組 国語科学習指導案

平成29年10月6日（金）第5校時

1 単元名 多様な情報を読み取り、意見文を書いて友達と交流しよう

教材名 「世界遺産 白神山地からの提言 ー意見文を書こう」

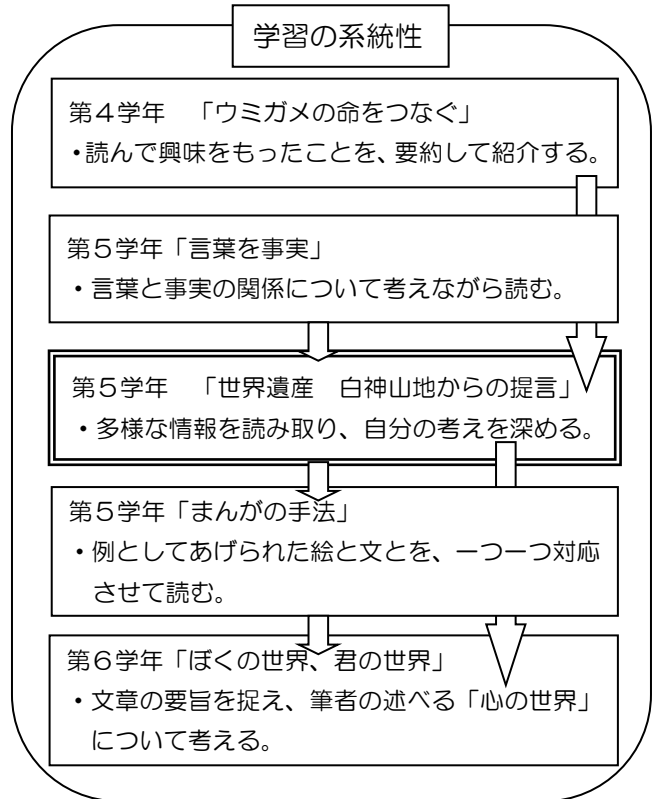
（ひろがる言葉 小学国語5下 教育出版）

2 言語活動とその特徴

本単元では主体的・協働的な学びを深める学習活動として、「自分の立場をはっきりさせて意見文を書き、羽生南小や三田ヶ谷小の友達と交流して考えを深める」ことを設定した。

この活動を通して「C 読むこと」の指導事項「才 本や文章を読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりすること。」や「B 書くこと」の指導事項「エ 引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書くこと。」の能力を身に付けさせることができると考える。

また、2つの異なる立場の文章を読むだけでなく、さまざまな資料の読み方や活用の仕方を学ばせ、意見文を書く時に取り入れさせたい。意見文の交流では、同じ立場でも根拠となる資料の選び方が異なっていたり、違う立場でも同じ資料を選択していたりするなど、さまざまな書き方があることを知り、自分の考えをさらに深める機会にしていきたい。



3 単元について

(1) 児童について

省略

(2) 教材について

本単元では意見文を書くことを最終目標とし、さまざまな資料から世界遺産である白神山地の自然保護の実態や理念などの情報を読み取り、それらを整理し、自らの立場を明確にした上で、意見文を書き、交流を行う。

また、本教材は、読むことと書くことの複合単元になっている。自然保護に対する立場の異なる2つの文章を読み、自分の立場を決め、意見文を書き交流することで、自分の考えを広めたり深めたりさせたい。そして、自分の立場や考えを見直す場を設け、相手や目的に対して自分の考えを明確にし、文章化して発信するのに適した教材だと考える。

(3) 指導について

本単元の第一次では、「意見文を書いて、羽生南小や三田ヶ谷小の友達と交流しよう。」という単元を貫く学習活動を確認し、意識させる。また、林間学校で行った日光の自然保護についての学習を振り返らせたり、学校図書館や市立図書館から自然保護に関する本を借りて、並行読書をさせたりして、自然保護のあり方に対して課題意識をもたせたい。

第二次の「白神山地について知る」段階では、自然保護に対して異なる二つの立場「人間を自然に近づけないようにして守る。」「人間が自然と関わりながら守る。」のどちらの立場に立つのかを資料1～6に示されている情報と結びつけながら考えていく。そして、自分の立場を明確にしなが

ら自然保護に関する考えを交流する。交流では、ペアでの話し合い、同質や異質グループでの話し合い、全体へと交流の形態を広げていく。

そして、第三次の「自分の立場をはっきりさせ、意見文を書く」段階では、第二次での交流を基にして意見文を書き、読み合う活動を行う。意見文の書き方だけでなく、さまざまな資料の読み方や活用の仕方を学ばせたい。そして、自校や他校の児童と交流する中で、自分の考えを広げたり、深めたりすることのよさを感じられるようにしたい。

4 研究主題とのかかわり

研究主題 「学び合い、伝え合いながら考えを深め、積極的にコミュニケーションを図る児童の育成」

(1) 研究の仮説

国語科の学習過程を工夫し、主体的・協働的な学びを深めるために言語活動を充実させれば、積極的にコミュニケーションを図る児童が育成されるであろう。

(2) 研究の手立て

①読む力を育成するために

- ・国語辞典を身近に置き、難語句をすぐに調べられるようにする。
- ・「図書コーナー」を作り、図書室や市立図書館の関連する本を並行読書させる。
- ・自分の考えだけでなく、友達の意見も書けるようにワークシートを工夫し、複数の意見から自分の考えを深められるようにする。

②伝え合う力を培うために

- ・ペアやグループでの交流の場を設定し、自分と相手の考えや感じ方を比較しながら聞くことを意識させる。
- ・根拠や理由を明らかにし、自分の立場や考えを伝えることを意識させる。

5 単元の目標

- (1) 白神山地に関する多様な文章や資料を読んだり、それを根拠にして自分の考えを書いたりしようとしている。
(関心・意欲・態度)
- (2) 資料や図表、グラフなどを用い、自分の立場を明確にして意見文を書くことができる。
(書くこと)
- (3) 教材文や資料を読み、自然保護について考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり、深めたりすることができる。
(読むこと)
- (4) 説明的な文章の基本的な構成を理解し、活用することができる。
(伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項)

6 単元の評価規準と学習活動に即した評価規準

	ア 国語への 関心・意欲・態度	ウ 書く能力	エ 読む能力	オ 言語についての 知識・理解・技能
単 元 の 評 価 規 準	<ul style="list-style-type: none"> 白神山地に関する多様な文章や資料を読み、それを根拠にして自然保護に対する自分の考えを深めようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 資料を引用したり、図表やグラフなどを用いたりし、自分の立場を明確にして意見文を書いている。(Bエ) 	<ul style="list-style-type: none"> 文章や資料を読み、自然保護について考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり、深めたりしている。(Cオ) 	<ul style="list-style-type: none"> 説明的な文章の基本的な構成を理解し、活用している。(イウ)
学 習 活 動 に 即 し た 評 価 規 準	<ul style="list-style-type: none"> ① 白神山地の自然について関心をもって読もうとしたり、発表したりしようとしている。 ② 白神山地に関する資料を読んで、自分なりの考えをもとうとしている。 ③ 自分の考えを積極的に伝え合い、友達のと比べようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 目的や意図に応じて書く事柄を収集し、整理している。 ② 自分の考えを伝えるための根拠や事例となる材料を集めて書いている。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 自分の課題を解決するために、文章や資料を比べて読んでいる。 ② 意見と根拠の関係をおさえ、自分の考えを明確にしている。 ③ 自然保護に対する考えを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 言葉に興味をもって意味を調べたり、自分の考えを書く中で使ったりしている。 ② 文や文章にはいろいろな構成があることを理解している。

7 単元の指導と評価の計画 (全10時間扱い・本時 6/10時)

次	時	学習活動	学習内容	学習活動に即した 評価規準・評価方法	
第一 次	1	①題名について話し合い、提言と意見文の違いについておさえる。 ②「意見文を書いて、羽生南小や三田ヶ谷小の友達と交流しよう。」ということを確認する。 ③白神山地や、自然保護について書かれた本を並行読書することを確認する。	○「提言」「意見文」の意味 ○初発の感想 ○新出漢字 ○難語句の意味調べ	アの①、オの① ・発表の様子や態度の観察 ・ワークシートの内容	
単元を貫く学習活動 自分の立場をはっきりさせて意見文を書き、羽生南小や三田ヶ谷小の友達と交流して、考えを深めよう。					
第二 次	2 3	①自然保護のあり方について考えるために、「ブナの森が支える豊かな自然」と「白神山地の自然保護」の二つの文を読み、白神山地の自然保護の方法を知る。	○二つの文章の内容 ○自然保護の二つの考え方の理解	アの②、エの① ・ワークシートの内容 ・発表の様子や態度の観察	
	4	①白神山地の自然保護のあり方について自分の立場を決め、その考えの根拠となる情報を見つける。 [A]人間を自然に近づけないようにして守る。 [B]人間が自然と関わりながら守る。 ②根拠となる情報と自分の意見をワークシートに記入する。	○自分の立場を決める ○資料の見方 ○ワークシートの記入の仕方	エの② ・発表の様子や態度の観察 ・グループ学習の様子の観察 ・ワークシートの内容	
	5	①考えを出し合い、ペア、同質グループで意見を交流する。 [A]人間を自然に近づけないようにして守る。 [B]人間が自然と関わりながら守る。 ②共通点や相違点をまとめ、自分の考えをさらに深める。	○自分の考えと根拠となる資料の整理の仕方 ○交流の仕方	エの③ ・発表の様子や態度の観察 ・ペアやグループ学習の様子の観察 ・ワークシートの内容	
	6 本 時	①考えを出し合い、異質グループで意見を交流する。 [A]人間を自然に近づけないようにして守る。 [B]人間が自然と関わりながら守る。 ②共通点や相違点をまとめ、自分の考えをさらに深める。	並 行 読 書		
第三 次	7	①意見文の書き方を知る。 ②自分の立場を決め、「始め」の部分を書き、読み合う。		○意見文の書き方	ウの①、オの② ・発表の様子や態度の観察 ・ワークシートの内容

				・グループ学習の様子を観察
8	①自分の考えとその根拠を整理する。 ②自分の立場や考えに合った根拠を「中」に書く。 ③「始め」に主張したことや「中」で根拠として書いたことを踏まえ、より自分の考えが伝わるように「終わり」を書き、意見文を完成させる。	○意見文の書き方	ウの② ・ワークシートの内容 ・グループ学習の様子を観察	
9	①ペアやグループで意見文を読み合い、感想を書く。 ②友達の感想を基に、意見文を推敲する。	○推敲の仕方	エの③、オの② ・交流の様子や態度を観察 ・ワークシートの内容 ・グループ学習の様子を観察	
10	①友達と意見文を読み合い、交流する。 ②学習の振り返りをする。	○意見文の交流の仕方	アの③ ・交流の様子や発表の態度を観察 ・ワークシートの内容	
	①三田ヶ谷小の友達の意見文を読む。 ②感想を書き、三田ヶ谷小の友達と交流する。	○意見文の交流の仕方		

8 人権教育上のねらい（普遍的な課題「人間関係づくり」）

お互いのよさやちがいを認め合いよりよい人間関係づくりの基礎を身に付ける。

9 本時の学習指導（ 6/10時 ）

（1）目標

自分の立場を明らかにしてグループで交流し、自分の考えを広げたり、深めたりすることができる。

（2）人権教育上の視点

人にはそれぞれの好みや考え方などのちがいがあることを知り、お互いのよさを認め合い、大切にする。
(態度)

（3）本時の評価規準

自然保護に対する考えを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりしている。

(4) 展開

前時の学習活動	考えを出し合い、ペア、グループ（同じ立場）で意見を交流することで、自分の考えを深める。
---------	---

学習活動	学習内容	○指導と評価の創意工夫 ◇人権教育上の配慮事項 □評価場面・評価規準・指導	資料準備	時
1 前時までの学習内容を振り返る。	○前時までの学習内容	○前時までの学習内容を振り返ることによって、今日の課題にスムーズに入れるようにする。	・資料提示	3
2 本時の課題を知る。	○課題の把握			2
自分の立場を明らかにして意見を交流し、自分の考えを深めよう。				
3 自分の考えとその根拠について交流する。 (1) グループ（違う立場）での交流	○意見交流の仕方	<div style="border: 2px solid red; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <p>【予想される児童の反応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・違う立場でも同じ資料を選んでいる。 ・同じ資料から自分とは違う読み取り方をすることができる。 ・違う立場の友達の意見を聞いて、新しい考えを知ることができた。 ・自分の立場を変えたいなくなった。 ・自分の考えが深まった。 </div>	・ワークシート ・交流の仕方	10
(2) グループ・個人でのまとめ		<p>○異なった立場の友達と交流することにより、さまざまな意見があることを知ることができるようにする。また、自分の考えが深められるようにする。</p> <p>◇人にはそれぞれ考え方などの違いがあることを知り、お互いのよさを認め合い、大切にしている。</p>		15
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>評価場面</p> <p>〈評価規準〉 自分の考えを積極的に伝え合い、友達の考えと比べようとしている。 (工の③)</p> <p>〈評価方法〉 ペアやグループでの話し合いの様子や態度の観察</p> <p>〈手立てと支援〉</p> <p>Aの児童に対する手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達の考えを聞き、共通点や相違点に気付き、自分の考えをさらに深めている児童には、具体的に良いところを称賛し、意見文を書くときに役立つようにする。 <p>Bになるための支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達の考えと自分の考えを比べ、違いに気付くように助言する。 </div>				

(3) 全体で意見を交流する。		○グループの代表が交流の内容を発表する。 ○一つの意見にまとめず、交流の内容を発表させる。 ○他のグループの意見も聞き、自分の考えが深められるようにする。		8
4 本時の学習を振り返る。	○学習のまとめ ○振り返り	○学習感想と最終的な自分の立場をワークシートに記入させる。	・ワークシート	5
5 次回の学習を確認する。	○次時の予告			2

次時の学習活動	意見文の書き方を知り、「始め」の部分を書く。
---------	------------------------

(5) 板書計画

振り返り

交流のポイント

- ① 立場を明らかにする。
- ② 根拠をはっきりさせる。
- ③ わかりやすく話す。
- ④ 共通点や相違点を見つける。
- ⑤ 自分の考えを振り返る。

自分の立場を明らかにして意見を交流し、自分の考えを深めよう。

世界遺産 白神山地からの提言

— 意見文を書こう —

自分の立場
黄色：…自然に近づけない
緑色：…自然と関わる

立場をはっきりさせて意見文を書き、羽生南小や三田ケ谷小の友達と交流しよう。